

# 共同輸送・中継輸送実装研究会について

## 「共同輸送・中継輸送実装研究会」 運営スキーム

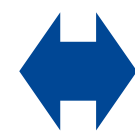
研究会の目的：道北地域における持続可能な物流システム構築に向けた共同輸送・中継輸送の実証実験が、計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られるよう、必要な検討と調整を行うとともに、本格運用に向けた課題の検討を行う

研究会メンバー：【委員】名寄商工会議所、道北地域ロジスティクス総合研究協議会、名寄市、北海道運輸局、旭川運輸支局、北海道開発局、旭川開発建設部、北海道総合政策部、上川総合振興局、学識経験者  
【アドバイザー会員】物流事業者等

### 主な活動内容

1. 研究会会議の開催（年数回）
2. 研究会メンバーの拡充
3. 実証実験対応
  - ・参加メンバーの物流事業実態、ニーズ把握・拠点施設の検討
  - ・マッチングの検討・結果とりまとめ・幹事社の選出
4. マッチングシステムの研究  
道北地域に最適なマッチングシステム（求貨・求車システム等）の研究
5. 共同輸送・中継輸送の本運用に向けた課題検討
6. 道北の産業・社会情勢を踏まえた取組の検討

※会費無料



### ～実証実験実施チーム～

設置目的：持続可能な物流システム構築に向けた実証実験の実施  
活動内容：・実証実験対応（運賃、責任割合調整）  
・実証実験の実施  
メンバー：公募による物流事業者等



## 「道北地域物流効率化推進協議会（仮）」 運営スキーム

協議会の目的：道北地域における物流システムの維持・効率化に向けて、名寄周辺を拠点とした共同輸送・中継輸送の実施に関するサポートを行う

協議会メンバー：同上

### 主な活動内容

1. 協議会会議の開催（年数回）
2. 協議会メンバー入退会管理
3. 協議会メンバー拡充
4. 求貨・求車システム導入可能性検討
5. 道北の産業・社会情勢を踏まえた取組の検討
6. 中継輸送拠点の検討



### ～社会実装実施チーム～

設置目的：持続可能な物流システムの運用  
活動内容：共同輸送・中継輸送の本運用  
・幹事社の選出  
・参加メンバーの物流事業実態・ニーズ把握  
・マッチングの検討（求貨・求車システム導入）  
・運賃・責任割合、費用負担調整  
メンバー：物流事業者等

令和5年度

令和6年度以降

# 共同輸送・中継輸送の本運用に向けた流れ

令和4年度

令和5年度

令和6年度以降

物流関連事業者対象アンケート調査

研究会構成メンバーの選定

選定事業者への研究会参加打診・調整

研究会メンバーの物流事業実態把握（輸送品目、輸送方面、輸送量、輸送方法等）

研究会運営に向けた準備

令和5年3月

共同輸送・中継輸送実装研究会設立

【事業内容】

実証実験に向けた必要なデータの収集

実証実験に向けたスキームの検討

実証実験

共同輸送・中継輸送の本運用に向けた課題の整理・検討

道北地域物流効率化推進協議会（仮称）設立

名寄周辺を拠点とした共同輸送・中継輸送の本運用

- 道北地域の物流に関連する事業者
- 名寄周辺を拠点とした物流効率化に興味のある事業者

- 研究会規約策定
- 事務局連絡調整
- 資料・会場準備等

1. 研究会メンバーの拡充
2. 実証実験対応
  - ・参加メンバーの物流事業実態、ニーズ把握・拠点施設の検討
  - ・マッチングの検討・結果とりまとめ
  - ・幹事社の選出
3. マッチングシステムの研究
4. 共同輸送・中継輸送の本運用に向けた課題検討
5. 道北の産業・社会情勢を踏まえた取組



**R5年度は共同輸送・中継輸送の実装を目指し、実証実験を通じた検討を研究会で実施**

▶ **物流拠点を有しない  
中小の物流事業者に着目**

# 研究会の必要性と実証実験のイメージ

## 中継輸送・共同輸送を実施するための障害

- ➡ 民間事業者間では信頼関係の構築が難しい、企業間の営業・機密情報等の共有が困難 等
- ➡ 事業者が安心して参加出来る枠組みがない

## 札幌地区トラック協会の声

- 近年は、労務管理を厳守するため、大手の物流事業者などを中心に中継輸送などを行っているが、中小事業者の多くは、設備投資に係る費用や人的負担、他企業との連携の難しさなどから、なかなか中継輸送ができない状況になっている。
- 特に、他企業との連携については、信頼関係がないと連携という話にならず、施設があっても機能しない可能性が高いと考えている。

## ヒアリングを行った事業者の声

- 名寄に中継拠点が出来た場合、活用は大いに検討する。
- 道北圏域の物流システム効率化検討の必要性を、強く感じており、名寄の物流拠点化に非常に興味がある。協議体に参加を希望する。

## 共同輸送の取り組みを促進

- 道北方面の物流サービス低下を、研究会の取り組みで改善
- 実証実験により、**成功事例をひとつつくる**ことで、道北地域の物流事業者へ共同輸送の取り組みを広げていく

事業者が安心して取り組みに参加するためには、民間だけではなく、行政や学識経験者、地域が一丸となった枠組みとして、**研究会の立ち上げと実証実験が必要**

実証実験の成功により…

## 実証実験のイメージ

### 物流課題

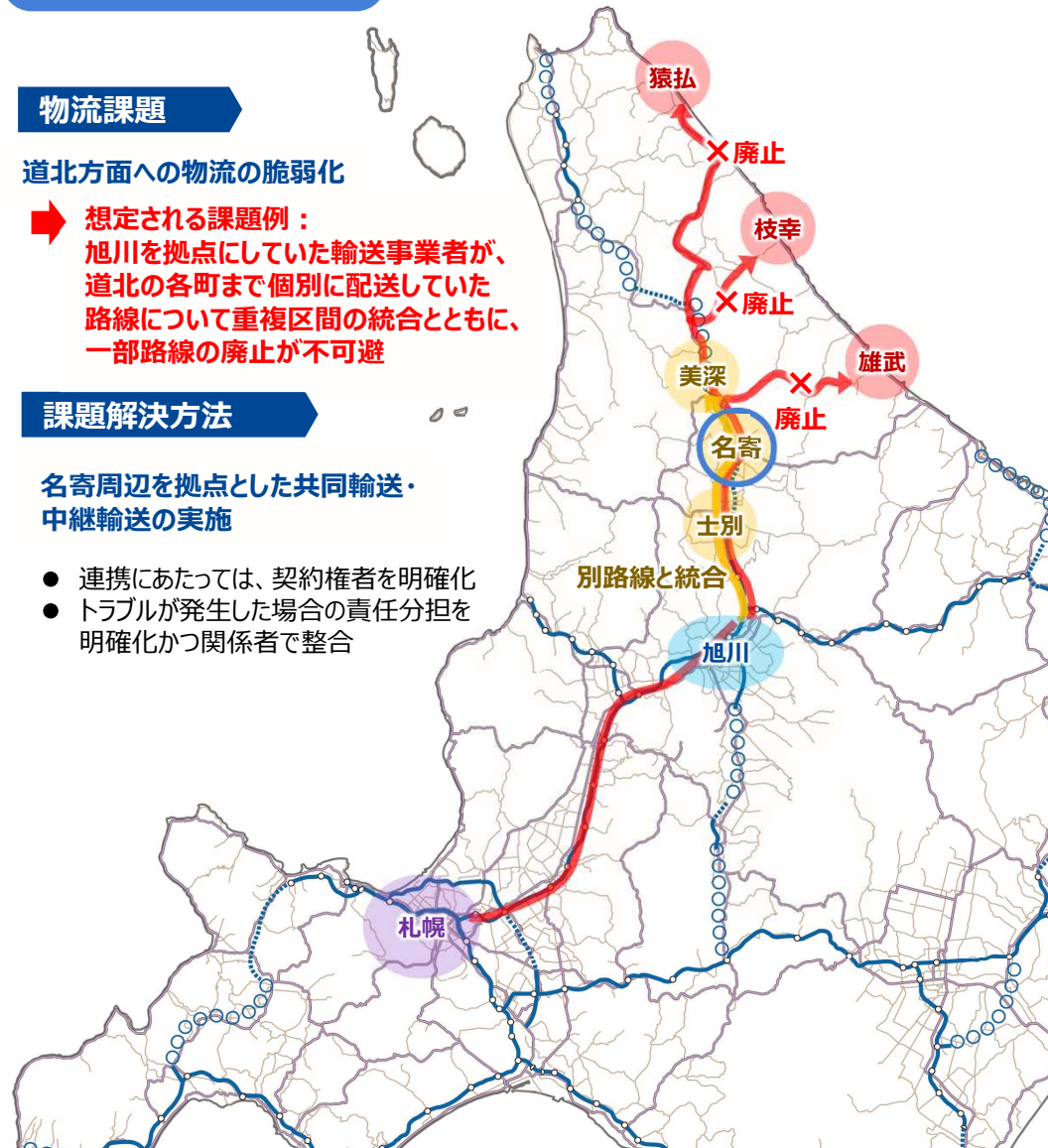
#### 道北方面への物流の脆弱化

- ➡ 想定される課題例：  
旭川を拠点にしていた輸送事業者が、道北の各町まで個別に配送していた路線について重複区間の統合とともに、一部路線の廃止が不可避

### 課題解決方法

#### 名寄周辺を拠点とした共同輸送・中継輸送の実施

- 連携にあたっては、契約権者を明確化
- トラブルが発生した場合の責任分担を明確化かつ関係者で整合



想定される課題例による配送路線への影響（イメージ）